発行所　東京都防衛協会
〒162-0844
東京都新宿区市谷八幡町１３番地
東京洋服会館９階
TEL:03-6280-8427
FAX:03-6280-8428
e-mail:info@tda.tokyo
HP:www.tda.tokyo

東京都防衛協会会報

第３９号〈令和８年（２０２６年）１月１日〉

抑止力強化への貢献

東京都防衛協会　会長　大宮英明

明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、ご家族の皆様とお健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。旧年中は、東京都防衛協会への深いご理解とご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

我々が慣れ親しんできた自由で開かれた安定的な国際秩序は、パワーバランスの歴史的変化と地政学的競争の激化に伴い、大きく揺らぎ続けています。同時に、我が国周辺では、いずれも隣国であるロシア、中国、北朝鮮の軍事的動向等が深刻な懸念となっています。

このような厳しさを増す国際情勢の中、昨年10月、我が国で初めて女性の内閣総理大臣となる高市早苗内閣が誕生しました。また、昨年まで26年間にわたり連立を組んできた公明党が連立政権から離脱するとともに、少数与党となった自民党は日本維新の会との新たな政権の枠組みを誕生させました。連立合意書によれば、我が国の安全保障に関わる総合的な国力の主な要素である外交力、防衛力、経済力、技術力、情報力の５つの国力を強化、発展させる各種の施策が盛り込まれており、それを踏まえて高市新政権は責任ある積極財政と危機管理投資により『日本再興（Japan is back）』を図るとしています。

このような状況において、自衛隊は周辺海空域の警戒監視や海外における国際平和協力の任務等により、自由と民主主義を基調とする我が国の主権と独立を維持するとともに、領域を保全し、国民の生命・財産の安全を確保しています。加えて、大規模自然災害等に際して最後の砦として即応すると共に、国家行事への協力支援等数多くの重要な任務を遂行しています。

東京都防衛協会としましては、会員一人ひとりが自らの備えを万全にすると共に、夫々の地区において自治体や各種の団体と連携する等の活動を通じて期待される役割を確実に果たしていく必要があります。また、我々のこのような努力は自衛隊の存在・活動と相まって我が国の抑止力を確実に強化できると確信しています。

東京都防衛協会は新年度においても地区協会及び特別会員の皆様と力を合わせ、「国民の防衛意識の普及高揚を図ると共に、自衛隊を激励支援してその充実発展を助長し、もって我が国の平和と繁栄に寄与する」という本会の目的達成のため、会勢の拡大及び各種事業の推進を計っていく所存です。引き続き皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、各地区協会及び特別会員の皆様の益々のご発展、ご健勝・ご多幸を祈念して新年の挨拶とさせていただきます。

第１師団長　陸将　堺　一夫

隊員並びにご家族の皆さま、そして平素からご支援ご協力を賜っております関係諸団体の皆さま、明けましておめでとうございます。

昨年は東京都八丈島における台風第22号及び第23号に係る災害派遣活動、印度陸軍との実動訓練「ダルマ・ガーディアン」の実施、令和７年度自衛隊音楽まつりへの第１師団らっぱ隊の参加、国際緊急援助活動に対する派遣態勢維持など多岐にわたる任務を完遂してまいりました。

本年も首都防衛という任務を完遂するため、隊員一人ひとりが使命を自覚し、団結を強化して師団一丸となり多様な任務を遂行してまいります。

本年が皆さまにとって、素晴らしい年となりますことを心より祈念申し上げます。

知恵と工夫と本気の努力

東京地方協力本部長　陸将補　鹿子島　洋

令和８年の年頭に当たり、新年の御挨拶を申し上げます。東京地本は昨年、創立69周年を迎えることができました。これも偏に諸先輩方の御努力及び協力諸団体や地域の皆様の御支援、御協力の賜物であり、改めて感謝申し上げます。

現在のわが国の安全保障環境の特徴として、普遍的価値やそれに基づく政治・経済体制を共有しない国家が勢力を拡大している状況やゲーム・チェンジャーとなりうる先端技術の開発による従来の軍隊の構造や戦い方の根本的な変化、さらには、サイバー領域などにおけるリスクの深刻化といったグローバルな安全保障上の課題が存在しています。

令和４年12月、戦略三文書が策定され、相手の能力と新しい戦い方に着目した防衛力の抜本的強化を行うことが定められ、防衛力の強化は着実に前進しており、「防衛力整備計画」の４年目となる令和８年度の概算要求に当たっては、防衛力整備計画期間内の防衛力の抜本的強化を実現するため、令和８年度中に着手すべき事業を積み上げ、歳出予算の要求額を着実に増加すると謳われています。

加えて、令和６年12月、「自衛官の処遇・勤務環境の改善及び新たな生涯設計の確立に関する基本方針」が取りまとめられ、現在、各種施策が着実に前進しているところです。

このような中、抑止力及び対処力を確かなものにするためには「人材（人財）」の確保が決定的に重要であると思料しておりますが、今日における自衛官募集は、少子・高学歴化、若者の価値観の変容、社会構造の変化、情報環境の影響等により、かつてない困難に直面しています。これを打開するために、東京地本は、全国募集事務所のフラッグシップ的役割を有する渋谷募集案内所を新設するなど、募集基盤を着実に強化・発展させるとともに、出口となる援護、そして予備自衛官等業務などの充実を図っております。「自衛官の確保は最大の抑止力」ということを念頭に、引き続き、その職責に誇りと使命感を堅持し、現行制度下において最大限の努力を発揮してまいります。

これからも、諸先輩方が築いてこられた69年の歴史を継承し、「不易流行」の精神を力強く実践して、飽くなき執念をもって「知恵と工夫と本気の努力」により、東京地本に与えられた任務（目標）を部員一丸となって達成していきたいと思います。

結びに、皆様の本年の御多幸と御健勝を祈念申し上げますとともに、変わらぬ御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。

○東京都防衛協会は、区市町村の民間の有志で構成されている地区協会を中心に昭和41年３月に結成された任意の団体です。
○「自分の国は自分で守る」の気概をもって、広く都民の間に防衛意識の普及高揚を図るとともに自衛隊を激励支援してその充実発展に寄与するような広範な活動を続けています。

東京都防衛協会創立６０周年記念行事（開催予定）

東京都防衛協会は令和８年４月２０日（月）ホテルグランドヒル市ヶ谷において創立６０周年記念行事を開催します。

＊＊＊＊　会員の皆様のご参加をお待ちしています　＊＊＊＊

謹賀新年

東京都防衛協会　会長　大宮英明

副会長　浅野敏雄
副会長　大石吉彦
副会長　根本勝則
副会長　島田和久
副会長　山田忠昭
副会長　栗山欽行
理事長　吉田浩介
会長　中野義弘
昭島市防衛協会　山口幸男
あきる野市秋川地区防衛協会会長　岸　義男
あきる野市五日市防衛協会　会長　瀬尾正弘
板橋区防衛協会　会長　中川博道
江戸川区防衛協会　会長　石川　清
青梅市防衛協会　会長　青木　修
奥多摩町防衛協会　会長　小俣雅宏
北区防衛協会　会長　佐伯　寛
国立市防衛協会　会長　永田政弘
小平市防衛協会　会長　栗山欽行
狛江市防衛協会　会長　田邊治邦
自衛隊荒川区協力会　会長　近藤彰敏
渋谷区防衛協会　会長　大家章嘉
新宿区防衛協会　会長　川元賢一郎
杉並区防衛協会　会長　島田益吉
世田谷区防衛協会　会長　中島孝行
立川市防衛協会　会長　小磯　明
多摩市防衛協会　会長　柿崎裕治
東京中央防衛協会　会長　磯　一昭
豊島区防衛協会　会長　山田忠昭
西東京市防衛協会　会長　上野博巳
練馬区防衛協会　会長　森上秀男
八王子市防衛協会　会長　冨松　崇
羽村市防衛協会　会長　大澤　進
東久留米市防衛協会　会長　古賀新一郎
東村山市防衛協会　会長　内　直樹
東大和市防衛協会　会長　梅田俊幸
日野市防衛協会　会長　馬場紀男
日の出町防衛協会　会長　猿渡昌盛
府中市防衛協会　会長　田村利光
福生市防衛協会　会長　高水永雄
瑞穂町防衛協会　会長　金井富雄
三鷹市防衛協会　会長　島崎義司
武蔵野市防衛協会　会長　高山晃一
武蔵村山市防衛協会　会長　小野瀬康裕
目黒区防衛協会

活動最前線！

地区防衛協会コーナー

あきる野市 秋川地区

明けましておめでとうございます。

あきる野市は平成7年に秋川市と五日市町が合併し、令和7年に市制施行30周年を迎えました。当会は地域特性を生かし、秋川地区と五日市地区の二体制で活動しています。

昨年度には近隣防衛協会と合同で横田基地視察を実施し、参加者から好評を得ました。また、11月の市産業祭では両地区が協力し、自衛隊広報やグッズ販売を行い、多くの来場者にご来訪いただきました。さらに今年は新たに女性部長が就任し、女性会員の増強や活動推進に積極的に取り組んでいます。役員会も定期的に開催し、行事日程等を協議しながら活動の充実を図っています。

今後も両地区が連携し、自衛隊広報を推進するとともに、東京都防衛協会の皆様と協働してまいります。

事務局長　日原省吾

米軍機、米軍兵士とともに記念撮影

練馬区

明けましておめでとうございます。

平素より練馬区防衛協會の活動に格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年は国際情勢が一層不透明さを増し、我が国を取り巻く安全保障環境も厳しさを増した一年でした。そうした中、地域の防衛意識の向上と、自衛隊への支援・理解をさらに広げていくうえで、当協会が担う役割はこれまで以上に重要となっております。

昨年は、コロナ禍により延期していた当協会創立60周年記念行事を、多くの皆さまのお力添えにより盛大に開催することができました。未来へ向けて新たな歩みを進める、大きな節目の一年となりました。

本年は、部隊研修などを通じて、区民の皆さまが安全保障への理解を深めていただける機会を積極的に提供してまいります。自衛隊と地域社会を結ぶ架け橋として、より一層実りある取り組みを推進していく所存です。

皆さまにとりまして、本年が健やかで実り多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げるとともに、引き続きのご指導とご支援をお願い申し上げます。

事務局長　辻　誠心

私たちの誇り 第１師団

躍動する自衛隊

八丈島に災害派遣

台風22号・23号により八丈島の生活に大きな影響が及ぶ中、師団は東京都からの災害派遣要請を10月11日に受け、直ちに八丈島における活動を開始した。給水、給食、物資輸送及び加水・入浴支援と任務は多岐にわたったが、その根底には「島民の暮らしを守り抜く」という強い思いがあった。

八丈島に到着した派遣部隊を最初に迎えたのは、疲れが見える中にも「来てくれてありがとう」と語りかける島民の温かい言葉だった。

隊員はそこで改めて「この島のために必ずやり遂げる」という決意を固くした。

給食支援が始まると、島民との距離は一気に縮まった。炊事車の前で子どもたちが「今日のメニューは?」と声をかけ、温食を受け取った家族が「本当に助かります」と深々と頭を下げる姿があった。支援を続けるうち、島民と隊員の笑顔が並ぶ場面は日常となり、互いの名前まで覚えるほどの交流も生まれた。

今回の入浴支援は町営温泉「ふれあいの湯」と連携した加水・入浴支援という、自衛隊として初の取り組みとなった。

湯船では「やっと湯船につかれて癒されるよ」と微笑む方、入浴を終えた子どもが隊員に向かって「また明日来るね」と手を振る姿には、支援を越えた深い信頼が育まれていた。

11月16日に行われた「感謝のセレモニー」では、島民が作る花道の中を幼稚園児から手渡された花束を手にした生活支援隊長を先頭に、隊員は一人ひとり島民の方とハイタッチを交わしながら進んだ。目に涙を浮かべ「いなくなるのは寂しい」「次は旅行で来てね」と話す多くの島民の方との別れを惜しむ時間は、短期間とは思えない濃く深い交流があった証だった。

八丈島での35日間、隊員と島民が支え合いながら歩んだ日々は、災害派遣活動の垣根を超え、確かな絆と信頼を築く時間となった。任務は完遂したが、この島で築かれた思い出とつながりは、隊員一人ひとりの胸に、これからも深く刻まれ続けていく。

日米の絆で基地防衛を強化

師団は10月19日から25日までの間、在日米軍が実施した横田基地演習「ビバリー・モーニング」に参加した。

本演習には師団から第1施設大隊及び第1特殊武器防護隊が参加し、米軍部隊と緊密に連携して行動した。

訓練ではＮＢＣ（核・生物・化学）兵器等による汚染への初動対応など、実戦的なシナリオに基づく訓練が行われた。

特に1特防は化学防護及び汚染除去活動を実施し、迅速かつ安全に任務を遂行し、高い即応力と日米間の連携能力を発揮した。

師団は今後も、首都防衛を担う部隊として、在日米軍との連携を緊密にし、平素から共同対処能力の維持・向上に努めていく。

１師団司令部広報班

東京都女性部会東北研修in仙台

11月11日、女性部会は小川女性部会長はじめ40名で1泊2日の研修旅行を実施した。

さあ、これから講話を聴きましょう！！

1日目は仙台の格調高いレトロなホテルに1泊し、松島基地司令のユーモア溢れる講話と伊達藩末裔の興味深い歴史を聴講し、その後は全国女性部会員と東北管内自衛隊ＶＩＰを含む約２５０名の盛大な懇親会に参加。

2日目は松島基地を訪問し殉職隊員に献花、ブルーインパルスの隊員との交流等基地内見学、往復の車中では「頭の体操クイズ」、ビンゴゲームなど趣向を凝らし、全員が一つになって盛り上がり有意義な旅であった。

会長　小川カヅ

帰りの車中、頭の体操「はーい！」

やはりブルーはカッコいい！

東京地本コーナー

「渋谷に自衛隊！？」渋谷募集案内所をオープン

自衛隊東京地方協力本部（本部長　鹿子島陸将補）は11月10日、渋谷区の宮益坂にある複合ビル「ＡＮＤ　ＣＲＯＳＳ　ＢＬＤＧ．」３Ｆに新設した渋谷募集案内所『ＳＨＩＢＵＹＡ　ＪＩＬＯＵＮＧＥ』にて、オープンイベント（ファンミーティング）を実施した。

当案内所は、代々木駅近傍から渋谷駅近傍へと事務所移転したものであり、今年2月の大田出張所の移転に続く一大事業であった。同案内所は、これまでの事務所とは一線を画す斬新なデザインと情報発信機能を備え、全国募集事務所のフラッグシップ的な役割を担うこととなる。

このオープンに先立ち10月31日には、東京地方協力本部協力９団体の長をはじめ、部内外から多くの方を招待した内覧会を行った。

運営開始にあたり実施した第1回ファンミーティングでは、多くの方が会場の様子を視聴できるようにライブ配信を実施し、海上自衛隊護衛艦「もがみ」乗務員やカンボジア防衛駐在官及び自衛隊音楽まつりの練習中の隊員とのＺＯＯＭライブ中継や防衛研究所　兵頭研究幹事、防衛大学校　藤岡副校長などによる防衛ミニ講座、さらにはミス・ワールドジャパン・ファイナリストなどによる陸・海・空自衛隊制服ファッションショーを実施するなど華々しい構成で盛り上がりを見せた。

イベントに参加された方からは、「若者文化とトレンドの発信地である渋谷で自衛隊の魅力を発信することは大変すばらしい」「フラッグシップとしてこの場所を選択したことに力強さを感じる」などの声をいただくことができた。

より多くの国民の皆様、特に若い世代の皆様がＳＮＳ等を通じ、「行ってみたい」と感じ、来所した際「居心地が良く、また来たい」「友達を誘いたい」「自衛隊に親近感が持て、魅力を感じる」と思っていただけるよう東京地本の全力をもって、ここ渋谷から情報発信していく。

募集課広報班

協賛広告有難うございます！

隊員及び家族の皆様の
遺言アドバイザー
柴田 純一　行政書士（遺言・相続 専門）
遺言書がなく揉める相続。揉めたら全員が敗者です。勝者は一人もいません。あなたの遺言書があなたの家族を守ります。「遺言書」づくりをサポート致します。
遺言書は、あなたと家族の絆の証明書!!
秘密厳守
行政書士　柴田法務会計事務所
〒173-0035 東京都板橋区大谷口2-24-13　受付時間／10:00~18:00
TEL 03-6780-1408　FAX 03-6780-1409
E-mail/info@yuigonsyo.biz　http://www.yuigonsyo.biz/

婚礼・宴会のご用命をお待ち申し上げております
法人営業部　担当　武　本　茂（陸OB　防大27期）
TEL：03-3746-7711　Mobile：080-2384-9560
E-mail：s.takemoto@meijikinenkan.gr.jp

相続・事業承継
対策と税務申告

税理士・事業承継士　秋田　耕治郎
「命の襷（たすき）」を繋ぐお手伝い
相続も事業承継も早めの準備が重要です。
私たちは、皆様の大切な想いと財産を未来へと繋ぐお手伝いをさせていただいています。
真心と感謝と祈りを込めて。
秋田會計事務所｜相続支援センター 千代田区水道橋相談室
〒101-0061　東京都千代田区三崎町3-2-16　三弘ビル3F
TEL 03-3263-3458　FAX 03-3263-3459
E-mail：akita@tkcnf.or.jp　URL：http://www.akita-kaikei.jp